

SNT-EX101/EX101E/EX104/EP104/EX154/EP154
リリースノート

Ver. 1.87

2017/4/25

Sony Corporation

Release Note

変更履歴

#	リリース日	バージョン	主な変更内容及び、コメント
1	2009/09/14	1.00/1.01	初回リリース SNT-EP Ver. 1.00 それ以外 Ver. 1.01
2	2009/09/30	1.02	Bug Fix 「カメラ妨害検知のアラームについて」「VMF 機能について」内容追加 「改善した問題点について」追加
3	2009/10/15	1.03	#本バージョンは、SNT-EX,EP シリーズのみリリース - PoE モデル SNT-EX101E 新機種追加対応 - 中国仕向対応
4	2009/10/26	1.03.01	#本バージョンは、SNT-EX,EP シリーズのみリリース。 Ver. 1.03 のバグ対策バージョン
5	2009/11/09	1.04	Bug Fix 「バージョンアップについて」追加 Ver. 1.04 で改善した問題点を記述。
6	2009/12/15	1.06	Bug Fix Ver. 1.06 で改善した問題点を記述。
7	2010/04/22	1.10.01	・新機能追加、機能改善を追加。 ・対策した問題点、既知の問題点更新
8	2010/08/03	1.20	・新機能追加、機能改善を追加。 ・対策した問題点、既知の問題点更新
9	2010/08/27	1.22	Bug Fix
10	2010/09/17	1.25	Bug Fix
11	2010/12/20	1.30	・新機能、機能改善を追加 ・対策した問題点、既知の問題点更新
12	2011/03/04	1.31	・Bug Fix ・「その他、機能について」の「EdgeStorage」を修正
13	2011/04/28	1.34	・Bug Fix
14	2011/08/22	1.50	・新機能を追加、機能改善を追加 ・対策した問題点、既知の問題点を更新
15	2012/03/6	1.61	・改善した問題点を追加 ・「ファームウェアバージョンに関するご注意」を追加 ・「Edge Storage 機能使用時の USB メモリーについて」を追加
16	2012/04/27	1.73	・新機能を追加、機能改善を追加
17	2012/07/19	1.73.02	・Ver. 1.73.02 の改善した問題点を追加 ・7.1.更新(NTCIP の一般情報提供予定なし)
18	2012/11/22	1.77	新機能を追加、機能改善を追加
19	2012/12/14	1.77.01	機能改善を追加
20	2013/03/29	1.77.03	改善した問題点を追加
21	2013/08/01	1.79	新機能および改善した問題点を追加
22	2013/09/27	1.80	改善した問題点を追加
23	2014/01/22	1.82.01	改善した問題点を追加
24	2014/03/28	1.82.02	改善した問題点を追加

Release Note

25	2014/11/10	1.85	新機能を追加
26	2016/12/22	1.86	Ver. 1.86 の新機能を追加 Ver. 1.86 で改善した問題点を追加
27	2017/04/25	1.87	Ver. 1.87 の新機能を追加

目 次

1. 本リリースバージョンについて	8
1.1. 全般について	8
1.2. 動作環境について	8
1.3. 互換性について	8
1.4. ONVIF 適合検証	8
2. ファームウェアアップグレード	9
2.1. アップグレード方法	9
2.2. ファームウェアバージョンに関するご注意	9
3. Ver. 1.87 の新規追加機能について	9
3.1. セキュリティの強化対応	9
4. Ver. 1.87 で改善した問題点	9
5. Ver. 1.86 の新規追加機能について	9
5.1. セキュリティの強化対応	9
5.2. ONVIF Ver. 16.07 対応	9
6. Ver. 1.86 で改善した問題点	9
7. Ver. 1.85 の新規追加機能について	9
7.1. Windows 8.1 IE11 対応	9
7.2. ONVIF Ver. 14.06 対応	10
8. Ver. 1.82.02 の新規追加機能について	10
9. Ver. 1.82.02 で改善した問題点	10
9.1. スーパーインポーズによる日付表示機能の不具合修正	10
9.2. LAN 固定モード設定不具合修正	10
10. Ver. 1.82.01 の新規追加機能について	10
10.1. ONVIF Ver. 13.06 対応	10
11. Ver. 1.82.01 で改善した問題点	10
11.1. 夏時間期間内に時刻情報が進む不具合の修正	10
11.2. ファームウェア格納メモリーにおけるデータエラー訂正の能力強化	10
12. Ver. 1.80 の新規追加機能について	11
13. Ver. 1.80 で改善した問題点	11
13.1. 起動直後の 802.1x 認証が失敗する不具合の修正	11
14. Ver. 1.79 の新規追加機能について	11
14.1. Windows 8 IE10 対応	11
14.2. ONVIF Ver. 12.12 対応	11
14.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能	11
14.4. G.726 の RFC3551 フォーマット対応 (SNT-EX101/EX101E/EX104/EX154)	11
15. Ver. 1.79 で改善した問題点	12
15.1. ONVIF における音声のみの Profile 対応 (SNT-EX101/EX101E/EX104/EX154)	12
15.2. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正	12
15.3. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正	12
15.4. ONVIF における Video Encoder Configuration 対応	12
15.5. Edge Storage の記録性能の改善	12
15.6. RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加	13
15.7. Transparency mode によるシリアル制御が使用できなくなる不具合対応	

(SNT-EX101/EX101E/EX104/EX154)	13
16. Ver. 1.77.03 の新規追加機能について	13
17. Ver. 1.77.03 で改善した問題点	13
17.1. 電源投入後に CH1 のファームウェアが正常に起動しない問題	13
18. Ver. 1.77.01 の新規追加機能について	14
19. Ver. 1.77.01 で改善した問題点	14
19.1. 異音が発生するまたはストリーミング画像が取得できない問題 (SNT-EX101/EX101E/EX104/EX154)	14
20. Ver. 1.77 の新規追加機能について	14
20.1. ONVIF Profile S 対応	14
20.2. CGI コマンドによる「No Video」表示抑制	14
20.3. CGI コマンドによる WS-Discovery 設定	14
21. Ver. 1.77 で改善した問題点	14
21.1. SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善	14
21.2. AD プロトコルでの Iris close/stop 処理追加	14
21.3. MPEG-4 の SDP 修正	15
21.4. 他社クライアントソフトとの接続性改善	15
21.5. SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題	15
21.6. 動体検知中に alarmdata.cgi が非検知を通知する問題	15
21.7. マルチキャスト配信時の応答性改善	15
21.8. ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答	15
21.9. 動体検知の最大検知サイズ設定	15
22. Ver. 1.73.02 で改善した問題点	15
22.1. Full Duplex 通信でのスループット低下	15
23. Ver. 1.73 の新規追加機能について	16
23.1. サポートするブラウザ	16
23.2. 映像別のマルチキャストアドレス設定	16
24. Ver. 1.73 で改善した問題点	16
24.1. マルチキャストアドレスのデフォルト値	16
24.2. ONVIF プロトコル接続時の応答メッセージ不具合	16
24.3. RtpExpire 設定値の反映	16
25. Ver. 1.61 で改善した問題点	16
25.1. ビデオコーデックモード設定改善	16
25.2. Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合	16
25.3. Smartphone viewer のストリーム受信不具合	17
25.4. JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正	17
25.5. Audio upload 認証エラー時の再接続不具合	17
25.6. Edge Storage 再生不具合	17
25.7. USB メモリー異常送信メール	17
26. Ver. 1.50 の主な新規追加機能について	17
26.1. NTCIP 対応	17
26.2. Connection List	17
26.3. Smartphone viewer	18
27. Ver. 1.50 で改善した問題点	18
27.1. SNMP 関連の設定保存	18

28. Ver. 1.34 で改善した問題点	18
28.1. Edge Storage	18
28.2. アラームバッファ	18
28.3. ストリーミング	19
29. Ver. 1.31 で改善した問題点	19
29.1. 動体検知	19
29.2. SNMP	19
29.3. イベントファイル	19
30. Ver. 1.30 の主な新規追加機能について	19
30.1. 言語	19
30.2. サポートする OS, ブラウザ	19
30.3. ONVIF	19
30.4. Edge Storage	19
31. Ver. 1.30 で変更／改善された機能について	20
31.1. プリセット名	20
31.2. PTZ 制御インターフェース	20
31.3. H.264 での画乱れ	20
32. Ver. 1.25 の主な新規追加機能について	20
32.1. RTSP Multicast ストリーミング	20
33. Ver. 1.25 で改善した問題点	20
33.1. 時刻変更	20
33.2. Edge Storage	20
34. Ver. 1.22 で改善した問題点	21
34.1. 工場出荷設定での問題	21
35. Ver. 1.20 の主な新規追加機能について	21
35.1. 言語	21
35.2. アナログカメラのスピード調整	21
35.3. サポートするアナログカメラの追加	21
36. Ver. 1.20 で変更／改善された機能について	21
36.1. ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフ	21
36.2. ストリーミング以外の静止画 (JPEG) の画質設定	21
36.3. MPEG-4 でのビットレート	21
36.4. 動体検知領域	22
36.5. RTSP	22
36.6. プリセットツアー	22
37. その他、機能について	22
37.1. Audio Upload Tool	22
37.2. 動体検知	22
37.3. カメラ妨害検知のアラーム	22
37.4. VMF	22
37.5. プリセット位置のサムネイル表示	22
37.6. SSL	23
37.7. RTSP ストリーミング	23
37.8. Edge Storage	23
37.9. アナログカメラ制御 (Panasonic)	24

37.10. アナログカメラ制御 (GE)	24
38. 既知の問題点について	24
38.1. IPv6 DHCPv6 について	24
38.2. Safari について	24
38.3. Edge Storage	24
38.4. RTSP	24
38.5. SNC video player	24
38.6. Smartphone viewer での長時間再生	24
38.7. Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下	25
39. Edge Storage 機能使用時の USB メモリーについて	25

1. 本リリースバージョンについて

1.1. 全般について

本バージョンは、Ver. 1.87 になります。

以下の機種が対象となります。

- SNT-EX101 (SYP, CN)
- SNT-EX101E (SYP, CN)
- SNT-EX104 (SYQ, CN, J1)
- SNT-EP104 (SYQ, CN, J1)
- SNT-EX154 (SYM, CN)
- SNT-EP154 (SYM, CN)

詳細内容については、本リリースノートで説明しています。

1.2. 動作環境について

カメラの映像を見たり、制御したりするコンピューターには、次の動作環境が必要です。

- OS
 - Windows 7(32bit 版、64 bit 版)
 - Windows 8.1 Pro(32bit 版、64 bit 版)
 - 動作検証済みエディション:
 - Windows 7 : Ultimate、Professional
 - Windows 8.1 : Pro
 - Microsoft DirectX 9.0c 以上
- Webブラウザ
 - Microsoft Internet Explorer Ver. 11.0 Windows 8.1 デスクトップモードのみ対応)
 - Firefox Ver. 50.1 (Plug-in free viewer のみ対応)
 - Google Chrome Ver. 55.0 (Plug-in free viewer のみ対応)
- CPU
 - Intel Core 2 Duo、1.8 GHz 以上
- メモリー
 - 1 GB 以上
- ディスプレイ
 - 1280 × 1024 画素以上

1.3. 互換性について

CGI コマンド、RTSP その他のネットワークプロトコル、ストリーミングに関するデータフォーマットにおける変更はありません。外部接続機器との相互接続性に対して Ver1.86 との互換性があります。

1.4. ONVIF 適合検証

本ファームウェアはONVIF Device Test Tool version 17.01でONVIF適合検証を行っています。

2. ファームウェアアップグレード

2.1. アップグレード方法

ファームウェアのアップグレードを行う場合は、SNC toolbox (Ver. 1.3.8.0 以降) を使用してください。SNC toolbox が対応するカメラの詳細については、SNC toolbox のリリースノートを参照してください。使用方法に関してはユーザーガイドの“SNC toolbox を使う”を参照してください。

2.2. ファームウェアバージョンに関するご注意

次のシリアル番号を有する製品は、ハードウェアの変更に伴い Ver.1.6x 以降を適用する必要があります。この製品に Ver.1.50 以前のファームウェアを適用すると起動後から映像が正しく表示されません。これを回避するには再度 Ver.1.6x 以降のファームウェアを適用してください。

機種／仕向		シリアル番号
SNT-EP104	SYQ	101359 -101859
SNT-EP104	CN	500537 -501037
SNT-EP154	SYM	103095 -103595

3. Ver. 1.87 の新規追加機能について

3.1. セキュリティの強化対応

【ご注意】ActiveX のインストールに失敗する場合は、最新の Windows セキュリティパッチを当ててください

4. Ver. 1.87 で改善した問題点

本バージョンで改善した問題点はありません。

5. Ver. 1.86 の新規追加機能について

5.1. セキュリティの強化対応

5.2. ONVIF Ver. 16.07 対応

ONVIF Device Test Tool Version 16.07 で適合検証を行っています。

6. Ver. 1.86 で改善した問題点

カメラ電源投入時に、ごくまれに起動に失敗することがある問題がありましたので、修正しました。
(Ver 1.01 からの問題)

7. Ver. 1.85 の新規追加機能について

7.1. Windows 8.1 IE11 対応

Windows 8.1 で動作するデスクトップユーザーインターフェース版の Internet Explorer11 (IE11) に対応しました。また、Windows 8.1 のスタート画面から起動された IE11、および Windows 7 版の IE11 での動作確認は行っておりません。

7.2. ONVIF Ver. 14.06 対応

ONVIF Device Test Tool Version 14.06で適合検証を行っています。

8. Ver. 1.82.02 の新規追加機能について

ありません。

9. Ver. 1.82.02 で改善した問題点

9.1. スーパーインポーズによる日付表示機能の不具合修正

スーパーインポーズによる日付表示機能において、下1桁に4と8を含む年をすべて閏年と判定していた不具合を修正しました。具体的には2014年、2018年、2034年、2038年および以降の不具合発生年において、2月28日の翌日を2月29日と表示し、システム設定の年月日から1日ずれてしまいます。GUIの「日付/時刻」タブでは正しく3月1日と更新されていますので、同タブにて年月日を更新するとスーパーインポーズ表示を修正することは可能です。

(Ver. 1.01 からの問題)

9.2. LAN固定モード設定不具合修正

CGI コマンドにより LAN スピード設定を 10Mbps もしくは 100Mbps の固定モードへ設定した場合、リブート、電源再投入後の動作に同設定が反映されない不具合を修正しました。本不具合においてはリブート、電源再投入後の動作がスピード固定とならず、接続先に合わせたスピードを設定してしまいます。

(Ver. 1.79 からの問題)

10. Ver. 1.82.01 の新規追加機能について

10.1. ONVIF Ver. 13.06 対応

ONVIF Device Test Tool Version 13.06で適合検証を行っています。

11. Ver. 1.82.01 で改善した問題点

11.1. 夏時間期間内に時刻情報が進む不具合の修正

「自動的に夏時の調整をする」機能を有効にしている場合、夏時間期間内においてカメラ内の時刻情報が3日間から4日間毎に1時間ずつ進む不具合がありました。本バージョンにて修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

11.2. ファームウェア格納メモリーにおけるデータエラー訂正の能力強化

メモリーの一部の領域でデータが壊れた場合に、電源を OFF/ON、もしくはリブートした後に、機器が起動しない、一部の機能が正常動作しない等の症状が発生する可能性があります。このため、エラー訂正能力を強化しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

12. Ver. 1.80 の新規追加機能について

ありません。

13. Ver. 1.80 で改善した問題点

13.1. 起動直後の802.1x認証が失敗する不具合の修正

802.1x認証機能付きのPoE Hubとの接続において、起動時に802.1x認証が失敗する不具合がありました。本バージョンにて修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

14. Ver. 1.79 の新規追加機能について

14.1. Windows 8 IE10 対応

Windows 8 で動作するデスクトップユーザーインターフェース版の Internet Explorer10 (IE10) に対応しました。また、Windows 8 のスタート画面から起動された IE10、および Windows 7 版の IE10 での動作確認は行っておりません。

14.2. ONVIF Ver. 12.12 対応

ONVIF Device Test Tool Version 12.12で適合検証を行っています。

14.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能

RTPストリームへ UserData を付加できる機能を追加しました。

CGIのカテゴリに userdata.cgi を追加し、パラメータ RTPUserData の値を on へ変更することで有効にできます。

http://ip_adr/command/userdata.cgi?RTPUserData=on

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください

14.4. G.726 の RFC3551 フォーマット対応 (SNT-EX101/EX101E/EX104/EX154)

G.726音声コーデックフォーマットを従来のITU-Tフォーマットに加え、RFC3551フォーマットにも対応しました。通常ONVIF接続時にはRFC3551フォーマットが選択されます。

次のように2つのフォーマットはストリーミング取得時のURIにより指定できます。

- ITU-Tフォーマット
rtsp://ip_adr/media/video1
または
rtsp://ip_adr/media/video1?g726=itu-t
- RFC3551フォーマット
rtsp://ip_adr/media/video1?g726=rfc3551

RFC3551フォーマット使用時のオーディオストリーミングポート番号は次の CGI パラメータで指定できます。

- ユニキャスト: RTSPUcAudioG726RfcPort (デフォルト 51004)
- マルチキャスト: RTSPMcAudioG726RfcPort (デフォルト 61004)

15. Ver. 1.79 で改善した問題点

15.1. ONVIFにおける音声のみのProfile対応 (SNT-EX101/EX101E/EX104/EX154)
ONVIFにおいて音声のみのProfileが作成された場合、GetStreamUriコマンドに対してBadRequestを返していましたが、URIを返すように修正しました。
(Ver. 1.77 からの問題)

15.2. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正
ONVIFにおいて、CET-1、IDLWのタイムゾーン設定ができなかったため、修正しました。また、GMTからのオフセット時間設定もできるように修正しました。(例えば、US、CANADAは「GMT-5」のように設定できます。ただし、分、秒単位のオフセット設定は対応していません。)
(Ver. 1.00 からの問題)

15.3. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正
デフォルト値と異なるPort番号が設定されている場合、ONVIFにおけるDevice Service AddressのPort番号付与ができていなかったため、変更後のPort番号を付与するように修正しました。
(Ver. 1.00 からの問題)

15.4. ONVIF における Video Encoder Configuration 対応
ONVIFにおいてVideo Encoder Configurationによる映像2側の問い合わせ、および設定ができない不具合がありました。同不具合に対して、映像1に依存して決定する映像2の設定パラメータを算出し、問い合わせへの応答、および設定ができるように修正しました。
また、RTSP セッションタイムアウト設定もできるように修正しました。(PTxxHxxMxxS表記の対応、および600秒を超える場合は、最大値の600秒として設定するようにしました。)
(Ver. 1.00 からの問題)

15.5. Edge Storage の記録性能の改善
メディアへのデータ書き込みが正常に行われなかった場合があります。
同症状が発生した場合、メディアエラーを検知し記録が停止してしまいます。
この症状に対し、メディアへ書込むデータ形式の変更を伴う修正で対応を行いました。
(Ver1.31 からの問題)

[ご注意]

記録済みデータは新しいデータ形式へ変換することが出来ません。
本バージョンでも、メディアによっては1秒近く記録できない症状が稀に発生します。

以前のファームウェアから本バージョンにアップグレードして、引き続きEdge Storageをお使いになるお客様は、下記の手順に従って下さい。

- 1) Edge Storage機能とイメージメモリー機能を停止する。
- 2) メディア内の記録済みデータのバックアップを行う(後述)。
- 3) ファームウェアをアップグレードする。
- 4) メディアを本機にてフォーマットする(記録済みデータは全て消去されます)。
- 5) Edge Storage機能とイメージメモリー機能を再開する。

メディア内の記録済みデータは以下のいずれかの方法でバックアップして下さい。

- a) RTSPストリーミング可能なレコーダーで、メディア内の映像データをストリーミング再生し保存する。
- b) 本機のFTPサーバー機能をオンにし、メディア内のデータをクライアントへコピーする。※
- c) 本機の電源を切った後、メディアを本機から取り出し、メディア内のデータをコンピューター等へコピーする。※

※ b)、c) の場合、コピーした映像データ(*.mafファイル)は、SNC video playerで再生可能です。

バックアップ前にファームウェアアップグレードを行ってしまった場合には、元のファームウェアバージョンに戻してから上記手順に従って下さい。メディア内に古いデータ形式のファイルを検出した場合は、スーパーインポーズにて“FORMAT MEDIA PLEASE”と表示されます。また、システムログにおいてもフォーマットを促すメッセージが表示され、Edge Storageの再開はできません。

15.6. RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加

RTSPにおけるPLAYの応答において、RTP-Infoヘッダを付加できるように修正しました。下記のCGIコマンドにおいて、RTPInfoパラメータをonすることで付加されます。(デフォルトはoffでなし。)

http://ip_adr/command/camera.cgi?RTPInfo=on

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください

(Ver. 1.00 からの問題)

15.7. Transparency mode によるシリアル制御が使用できなくなる不具合対応

(SNT-EX101/EX101E/EX104/EX154)

本不具合は、Transparency modeでのシリアル制御において、アナログカメラからのシリアル受信データをTCPクライアントへ転送中に、TCPクライアントから強制終了(RST)を受信した場合に、稀に発生していました。上記のような状況において、そのようなエラー状態にならないように修正を行いました。

(Ver. 1.01 からの問題)

16. Ver. 1.77.03 の新規追加機能について

ありません。

17. Ver. 1.77.03 で改善した問題点

17.1. 電源投入後にCH1のファームウェアが正常に起動しない問題

(SNT-EP104/EX104)

ハードウェアにより発生頻度は異なりますが、電源投入後にCH1のみファームウェアが正常に起動しない問題がありました。この問題が発生した場合には、本ファームウェアを適用することにより問題を解決することが出来ます。

(Ver. 1.01からの問題)

なお、下記シリアル番号以降に出荷されたセットでは、ハードウェアの変更によって、この問題を

解決しています。(対応ファームウェア: Ver.1.77.01)

SNT-EP104: [SY] 3010001～、[J] 3900001～、[CN] 3610001～

SNT-EX104: [SY] 3010074～、[J] 3900147～、[CN] 3610001～

本バージョンでは、ハード変更なしでこの問題を解決できるようにしました。

18. Ver. 1.77.01 の新規追加機能について

ありません。

19. Ver. 1.77.01 で改善した問題点

19.1. 異音が発生するまたはストリーミング画像が取得できない問題

(SNT-EX101/EX101E/EX104/EX154)

ストリーミング中であるなしに関らず異音が発生したり、ストリーミング画像が取得できなかったりすることがある問題を修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

20. Ver. 1.77 の新規追加機能について

20.1. ONVIF Profile S 対応

ONVIF Profile Sに対応しました。ONVIF Device Test Tool Version 12.06で適合検証を行っています。

20.2. CGI コマンドによる「No Video」表示抑制

ビデオ信号の入力がない時にストリーミング画像に表示される「No Video」をCGIコマンドの設定により表示しないように出来ます。

http://ip_adr/command/system.cgi?SiVideoInputLostWarning=off

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

20.3. CGI コマンドによる WS-Discovery 設定

CGIコマンドの設定によりONVIFで使用するWS-Discoveryプロトコルを作動させないように出来ます。この時、239.255.255.250宛のマルチキャストJoinメッセージは起動時に発行されません。

http://ip_adr/command/system.cgi?WsDiscovery=off

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

21. Ver. 1.77 で改善した問題点

21.1. SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善

SSL有効時のストリーミング画像のフレームレートを従来よりも向上させました。

(Ver. 1.00 からの問題)

21.2. AD プロトコルでの Iris close/stop 処理追加

接続されたカメラを制御するプロトコルAD(American Dynamics)を用いてIrisのcloseまたはstopが

できるようにしました。
(Ver. 1.00 からの問題)

21.3. MPEG-4 の SDP 修正

RTSPで使用するMPEG-4のSDP(Session Description Protocol)情報の最後に余分なデータ4バイトが付加されていたので削除しました。
(Ver. 1.00 からの問題)

21.4. 他社クライアントソフトとの接続性改善

Genetec製Omnicastクライアントソフトとの接続が切れてしまうことがある問題がありましたので修正しました。
(Ver. 1.30 からの問題)

21.5. SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題

SSL有効時にalarmdata.cgiが送信されない問題がありましたので修正しました。
(Ver. 1.30 からの問題)

21.6. 動体検知中に alarmdata.cgi が非検知を通知する問題

動体検知中にもかかわらずalarmdata.cgiが非検知を示す0をごくまれに返す可能性がありましたので修正しました。
(Ver. 1.00 からの問題)

21.7. マルチキャスト配信時の応答性改善

マルチキャスト配信時のCGIコマンドに対する応答性を改善しました。
(Ver. 1.00からの問題)

21.8. ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答

ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration 要求に対して、“HTTP/1.1 500 Internal Server Error”の応答が返ることがありましたので修正しました。
(Ver. 1.04 からの問題)

21.9. 動体検知の最大検知サイズ設定

PAL ビデオ信号を入力している場合に、動体検知の最大検知サイズが 720x480 以上に設定できないという問題がありましたので修正しました。
(Ver. 1.50 からの問題)

22. Ver. 1.73.02 で改善した問題点

22.1. Full Duplex 通信でのスループット低下

CGIコマンドによりイーサネット通信モードを 10Mbps または 100Mbps の Full Duplex 固定に設定すると、ネットワークスループットが低下する問題がありましたので、修正しました。
(Ver. 1.00からの問題)

23. Ver. 1.73 の新規追加機能について

23.1. サポートするブラウザ

Microsoft Internet Explorer Ver. 9.0に対応しました。

23.2. 映像別のマルチキャストアドレス設定

映像 1、映像 2、音声 (SNT-EX101/EX101E/EX104/EX154 のみ)ごとに個別のマルチキャストアドレスを設定および配信することを可能にしました。

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

[注意]

本機能は ActiveX viewer、設定画面、SNC toolbox からは使用できません。

24. Ver. 1.73 で改善した問題点

24.1. マルチキャストアドレスのデフォルト値

マルチキャスト配信機能で使用するアドレスのデフォルト値が RFC3171 で Local Network Control Block として割り当てられている 224.0.0.200 となっていましたので、これを 239.192.0.200 に変更しました。

(Ver. 1.00からの問題)

24.2. ONVIF プロトコル接続時の応答メッセージ不具合

GetVideoSourceConfigurationOptionsRequestでConfig,Profileの指定無しの時

GetVideoSourceConfigurationOptionsResponseにVideoSourceTokenAvailableフィールドが無い不具合を修正しました。

(Ver. 1.00からの問題)

24.3. RtpExpire 設定値の反映

CGIパラメータRtpExpireの値を変更した場合、リブートを伴わないと反映されないという問題がありましたので修正しました。

この修正により、リブートは不要となり、RtpExpireの値を変更した際に反映されるようになります。

(Ver. 1.00 からの問題)

25. Ver. 1.61 で改善した問題点

25.1. ビデオコーデックモード設定改善

ビデオコーデックモードのフレームモードまたはビットレートの設定が行われた際に、変更が反映されるまでに約3秒間程度要していましたが、今回の改善により変更反映時間を約1/10程度に短縮しました。

(Ver. 1.00からの問題)

25.2. Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合

Smartphone viewer使用時、Landscape modeで表示した際に画面下部が表示されない問題がありましたので、修正しました。アスペクト比を保持したまま表示領域内に全画面を表示しますので、左右に黒帯が表示されることがあります。

(Ver. 1.50からの問題)

25.3. Smartphone viewer のストリーム受信不具合

Smartphone viewer使用時、ネットワークメニューの「HTTPポート番号」を既定値の80番以外に変更するとストリームを受信出来ない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.50からの問題)

25.4. JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正

JPEGのRTPパケットヘッダ部のFragment Offset値がRFC規定値と異なっている問題がありましたので、修正しました。

互換性保持のために従来と同じ値で使いたいクライアントのために次のCGIコマンドを用意しました。

`http://ip_adr/command/camera.cgi?RTPMJPEGOffset=off`

詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

(Ver. 1.00からの問題)

25.5. Audio upload 認証エラー時の再接続不具合

Audio uploadの接続時に認証エラーが発生してもカメラ側からコネクションをクローズしていなかったため、クライアントが同じコネクションを使用して再接続する場合に失敗していた問題をカメラ側からコネクションをクローズするようにして修正しました。

なお、SNC audio upload toolではクライアントからコネクションを切断しているため従来よりこの問題は発生しません。

(Ver. 1.01からの問題)

25.6. Edge Storage 再生不具合

Edge Storageで指定された再生開始時刻と停止時刻によっては再生出来ないことがある問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.30からの問題)

25.7. USB メモリー異常送信メール

異常状態によるメール送信の設定を行う[異常送信タブ]で異常送信をオンに設定すると、USBメモリーへの記録や読み出しが正常に行われなかった場合にメールが送信されるようにしました。

(Ver. 1.01からの問題)

26. Ver. 1.50 の主な新規追加機能について

26.1. NTCIP 対応

NTCIP(National Transportation Communications for ITS protocol)は、米国で標準化されている交通監視用のプロトコルです。米国VidSys社製のVidShieldソフトからプリセット登録及び呼び出し、PTZ制御等が行えます。

管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

26.2. Connection List

ストリーミングの配信先に関する情報を取得するための機能です。どのクライアントがストリーミン

グを受信しているかを知るために使用します。

ストリーミング配信先のIPアドレス及びポート番号、HTTPあるいはUDP等の使用されているプロトコル、H.264等のメディアの種類等の詳細情報をセッション毎に取得することが出来ます。

CGIコマンドで対応しています。管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

26.3. Smartphone viewer

スマートフォンからアクセスして、映像を表示したり、PTZ操作をするためのスマートフォン用のビューアーです。

本機能のユーザーマニュアル及びサポート情報は下記のサイトに置いてありますので、参照して下さい。

<http://www.sony.net/ipela/snc>

27. Ver. 1.50 で改善した問題点

27.1. SNMP 関連の設定保存

バージョンアップを行った時や設定呼び出しを行った時にSNMP関連の設定が保存されない場合がありますので修正しました。Ver. 1.50より以前のバージョンからバージョンアップする場合やVer. 1.50より以前のバージョンで設定保存を行ったファイルから設定呼び出しを行う場合は、必要なSNMP関連の設定値は控えておき、バージョンアップまたは設定呼び出し後に再設定してください。

(Ver. 1.00 からの問題)

28. Ver. 1.34 で改善した問題点

28.1. Edge Storage

上書き設定がONのときに、500個のエントリーがある場合、古いエントリーから上書きされない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.30 からの問題)

RTP/RTSP/HTTP で再生できない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.30 からの問題)

常時記録している時に、Video Loss が発生すると、Video Loss からの復旧しても、記録を再開しない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

ストリーミングのタイムスタンプに誤りがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

Range パラメータの小数点以下が切り捨てられる問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.30 からの問題)

28.2. アラームバッファ

アラームバッファを使用する際、ポスト時間とイベント発生が重なるとデータを破棄してしまう問題

がありましたので、修正しました。
(Ver. 1.00 からの問題)

28.3. ストリーミング

Multicast のストリーム取得要求が連続で行われると失敗することがあるという問題がありましたので、修正しました。
(Ver. 1.00 からの問題)

29. Ver. 1.31 で改善した問題点

29.1. 動体検知

動体検知中にパン・チルト動作を繰り返すと、動体検知が動作しなくなることがありましたので、修正しました。
(Ver. 1.00 からの問題)

動体検知で検知対象をプリセット位置に設定しツアー実行時に 2 分経過しても、動体検知が再開しない問題がありましたので、修正しました。
(Ver. 1.10 からの問題)

29.2. SNMP

SNMP の CGI コマンドが動かない問題がありましたので、修正しました。
(Ver. 1.30 からの問題)

29.3. イベントファイル

イベントファイルに異常なフレームが存在する問題がありましたので、修正しました。
(Ver. 1.22 からの問題)

30. Ver. 1.30 の主な新規追加機能について

30.1. 言語

ポルトガル語が使用できるようになりました。

30.2. サポートする OS, ブラウザ

64bit 版 Windows 7 に対応しました。

動作検証済みエディション

- Windows 7 Professional

30.3. ONVIF

ONVIF Core Spec Version 1.02 に対応しました。

30.4. Edge Storage

Edge Storage 機能に以下の機能が追加されました

- 時刻のミリ秒対応
録画開始、停止時間がミリ秒単位で表現されます。
- Search cgi で録画データ(1 Stream)の Volume 表示

録画データのサイズを kbyte 単位で表現します。

- Search cgi で録画データ(1 Stream)の On-Recording 表示
現在録画中のデータと録画済みのデータが、それぞれ Recordingと Recorded として識別されます。

31. Ver. 1.30 で変更／改善された機能について

31.1. プリセット名

プリセット名に全角文字を使用出来るようになりました。

ただし、スーパーインポーズでは、全角文字は表示されません。

31.2. PTZ 制御インターフェース

インターフェース設定が Coaxitron の際、プリセット数が 32 で制限されていましたが、制限をなくしました。

31.3. H.264 での画乱れ

ビデオコーデックにH.264を指定し、ActiveX Viewerで画像を表示していると、動きのある箇所の画像が乱れることがありましたので、修正いたしました。

(Ver. 1.10 からの問題)

32. Ver. 1.25 の主な新規追加機能について

32.1. RTSP Multicast ストリーミング

RTSP を使用した Multicast ストリーミング要求に対応しました。

33. Ver. 1.25 で改善した問題点

33.1. 時刻変更

時刻変更を行う際、変更前時刻から 50 分以内の修正を行うと、数秒後に元の時間に戻ってしまう問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

33.2. Edge Storage

音声を記録する設定で、推奨設定以上の設定で使用する場合、ストリームの再生が出来ない場合がありますので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

ビデオコーデックに JPEG を選択して、音声記録をオンにすると、正しく記録されないことがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

映像と音声を記録しているファイルを再生する際に、RTP/RTSP または RTP/RTSP/HTTP で接続すると、音声再生されず、2回目以降接続できなくなる問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

34. Ver. 1.22 で改善した問題点

34.1. 工場出荷設定での問題

工場出荷設定のまま使用し、映像2のIPクチャ間隔を設定せずに映像2を見ようとする場合、映像が見えないという問題がありました。たとえば、RealShot Manager Advanced, RealShot Manager LiteまたはNSR-1200/1100/1050H と接続してお使いで、工場出荷設定のまま、映像2を見ようすると本問題は発生します。この問題を対策しました。

Ver. 1.20で工場出荷設定に戻した場合、またはファームウェアをアップグレードする際に現在の設定を保存していない場合は、Ver 1.22にファームウェアをアップグレードした後に、改めて工場出荷設定を行ってください。

(Ver. 1.20 からの問題)

35. Ver. 1.20 の主な新規追加機能について

35.1. 言語

下記の言語が使用できるようになりました。

- 繁体字中国語
- 韓国語

35.2. アナログカメラのスピード調整

本機に接続されたアナログカメラを操作する際のデフォルトの操作速度の設定を追加しました。

(SNT-EX101, SNT-EX101E, SNT-EX104, SNT-EX154)

35.3. サポートするアナログカメラの追加

下記のアナログカメラのプロトコルをサポートしました。

- VISCA

36. Ver. 1.20 で変更／改善された機能について

36.1. ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフ

ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフを用意しました。

詳細は、CGI マニュアルを参照してください。

36.2. ストリーミング以外の静止画 (JPEG) の画質設定

メール、FTP クライアント、イメージメモリー機能で使用する静止画 (JPEG) の画質設定が固定になっていましたので、修正しました。

(Ver. 1.00 からの問題)

36.3. MPEG-4 でのビットレート

ビデオコーデックに MPEG-4 を選択し低いビットレートを指定すると、指定のビットレートよりも高いストリームデータが送信されることがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

36.4. 動体検知領域

動体検知の検知領域が矩形でない時、設定の保存、読み出しを行った場合、検知領域が設定された通りに復帰しない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.00 からの問題)

36.5. RTSP

コーデックの設定を変更すると、RTSP/RTP/UDP のストリームが取得できない場合がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

RTSP の接続切断の繰り返しで、映像が出なくなる場合がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

JPEG の画像サイズが 280Kbyte を超えると映像が出ない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

コーデックを切り替えながら RTSP の接続切断をすると、映像がでないことがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

36.6. プリセットツアー

プリセットツアーを開始する時の位置が、最初に移動する位置の場合、プリセットツアーが開始されない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.00 からの問題)

37. その他、機能について

37.1. Audio Upload Tool

Proxy Server が設定されている場合、Proxy Server によっては Audio Upload Tool が接続できません。ただし接続できない場合は、Proxy Server を使用しないで接続してください。

37.2. 動体検知

SN-T-EX101/EX101E/EX104/EX154 では以下の制限事項があります。

- プリセット位置を移動してから、2分間は動体検知が有効になりません。

37.3. カメラ妨害検知のアラーム

動体検知が設定されていない場合、動体検知の検知領域を画面全体に設定してください。妨害検知が低下することがあります。

37.4. VMF

利用条件によっては、正しく検出できないことがあります。検出されることを実際の使用状況で十分に確認をおこなった上で本機能をご利用ください。

37.5. プリセット位置のサムネイル表示

ファームウェアのアップグレード時には、プリセット位置のサムネイル表示は引継がれません。

37.6. SSL

Windows VISTA または Windows 7 を使用し、SSL でアクセスする場合、Active X Viewer や動体検知画面が開けない場合があります。開けない場合は、以下の設定を行ってください。

1. ツール(T)から インターネットオプション(O)を開きます
2. セキュリティタブへ移動します
3. セキュリティレベル設定にて [信頼済みサイト]を選択します
4. [サイト(S)]ボタンをクリックします
5. [次の Web サイトをゾーンに追加する] にカメラのアドレスを入力します。必ずプロトコル (<https://>)を付加して下さい。
6. [OK]ボタンを押下し、設定を終了します

37.7. RTSP ストリーミング

RTSPストリーミングはパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

H.264/MPEGを使用する場合は、以下の通り

- ビデオ出力は、off
- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数は、2
- 接続ビットレートの合計は、4Mbps以下

JPEGを使用する場合は、以下の通り

- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数は、1
- フレームレート: 10fps以下
- 画質設定: Level 4以下
- 画サイズは、VGA以下

37.8. Edge Storage

Edge Storage を常時記録に設定している時に映像コーデックを変更すると記録が停止します。

Edge Storage 機能を使用する時は、Image Memory, FTP クライアントを使用しないでください。

- Image Memory: 共通タブの[記録機能]をオフ、アラームタブの[アラーム記録]をオフ、定期設定タブの[定期記録]をオフにしてください
- FTPクライアント: 共通タブの[FTPクライアント機能]をオフ、アラーム送信タブの[アラーム送信]をオフ、定期送信タブの[定期送信]をオフにしてください

Edge Storage 機能を使用する時は、メールのファイル添付を使用しないでください。

- アラーム送信タブの[ファイル添付]をオフ、定期送信タブの[定期送信]をオフ

Edge Storage 機能はパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

- ビデオ出力は、off
- ビデオコーデックは、映像2をオフ
- 画サイズは、VGA以下
- H.264/MPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ◇ ビットレート設定: 2Mbps以下
 - ◇ フレームレート: 15fps以下
- JPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ◇ フレームレート: 10fps以下
 - ◇ 画質設定: Level 4 以下

USBメモリーに保持可能な録画件数は、最大 500 です。上書き設定がオフの場合、エントリー数が 500 になった時点で新規の記録は停止します。上書き設定がオンの場合、エントリー数が 500 になると古いエントリーから上書きされます。

37.9. アナログカメラ制御 (Panasonic)

Panasonic 製のアナログカメラにプリセット登録・呼び出しができる最大数は 64 になります。

37.10. アナログカメラ制御 (GE)

GE 製のアナログカメラにプリセット登録・呼び出しができる最大数は 99 になります。

38. 既知の問題点について

38.1. IPv6 DHCPv6 について

IPv6環境で、DHCPv6サーバーとしてWindows Server 2008を使用している場合、IPアドレスを正しく割り当てられないことがあります。このような環境下では、IPv6ステートレスアドレス自動設定を使用してください。

38.2. Safari について

Safari4 または 5 にて Plug-in free viewer のストリーム方法にて JPEG を使用した場合は、メモリー使用量が増加し、Safari が異常停止することがあります。長時間の連続再生を行う場合は、ストリーム方法を JPEG Flash で使用するか、他のブラウザをご使用ください。

38.3. Edge Storage

推奨設定以上の設定で使用する場合、ストリームの再生が出来ない場合があります。

記録中に追いかけて再生を行うと、再生が記録に追いつく場合があります。その時は、再生が停止します。

映像と音声を記録しているファイルを再生する際、映像と音声の同期が取れない場合があります。

38.4. RTSP

推奨設定以上の設定で使用する場合、機器が再起動することがあります。

38.5. SNC video player

SNC video playerで再生するファイルが保存されているフォルダ名の最後の文字が数字である場合、正常に再生できない場合があります。その場合にはフォルダ名の最後の文字を数字以外にしてください。

38.6. Smartphone viewer での長時間再生

カメラのビデオコーデックにおいて大きな画像サイズが設定されている場合、長時間ビューアーを開いているとビューアーが停止することがあります。その際は再度ビューアーを起動し直してください。

38.7. Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下

Xperia™ arc では、PTZ ボタンを複数個同時に押すとカメラの PTZ 動作が動き続けることがあります。動作を止めるには、押したボタンのいずれかを再度押し直してください。

39. Edge Storage 機能使用時の USB メモリーについて

Edge Storage 機能使用時には温度 85 度動作保証品の USB メモリーをお使いください。
容量が 32GB を超えるものはカメラでフォーマットをしてからお使いください。